

団体名：特定非営利活動法人 フードバンク調布

活動地域：調布市

助成額：99,712 円、助成回数：2 回

ホームページ：<https://sites.google.com/foodbankchofu.org/202110/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

Facebook：<https://www.facebook.com/FoodBank.Chofu/>

【当初の目的に対しての結果】

フードバンク調布の活動で一番力を入れているのは子どものいる困窮世帯への食糧支援です。お腹を空かす子供を一人も出さないように、給食の無くなる長期休みに食糧支援をしています。当初は夏休みと冬休みに助成していただく予定でしたが、企業や団体からの助成金や寄付が思いもよらず頂けたことから夏休みは何とか他の助成金で賄うことができ、冬休みと春休みに「未来につなぐ募金」の助成をお願いすることになりました。長引くコロナ禍で苦しい生活を強いられている子育て世帯は減ることがなく、支援を希望する応募者も想定以上に多く、冬休みは260世帯、春休みは269世帯へ1世帯あたり約8~9kgの食品を提供したので、「未来につなぐ募金」の助成食品は有難くとても助かりました。冬休みはパントリーも宅配と平行して実施し、パントリーではりんごもお渡しすることができてとても喜ばれました。栄養価の高いおさかなソーセージはパントリーでも宅配でも好評でした。

【主催者の感想】

3年目となるコロナ禍の中、活動も感染防止対策を施しながらの作業が続くシフトを組むのも困難でしたが、スタッフの頑張りによって冬休みと春休みの子供プロジェクトを申し込み全世帯へ無事お届けすることができました。スタッフの負担は大きかったのですが、待っている子どもたちの笑顔と親御さんの安堵の顔を思い浮かべながら頑張って作業を終えました。パントリーでは、食品を楽しそうに選んでいるお子さんとそれを見守りながら食品を袋に詰めている親御さんの嬉しそうな笑顔を見て、こちらも自然と笑顔になりました。今年も「未来につなぐ募金」の助成を頂けたことで、寄贈食品では不足していた食品を更に充実して支援することができたとスタッフ一同喜んでいきます。

【支援を受けられた方の声】

- ・いつも大変助かっています。ありがとうございます。コロナで夏に失業してしまい、現在就職活動をしていますが見つからず失業給付と手当でどうにか生活していますがこの先がとても不安です。
- ・先程、届きました。箱いっぱいにお菓子、麺類、缶詰など、ありがとうございました。子供たちもサンタさんからの英語の手紙と、新しい絵本（いつも中古か図書館なので）に喜んでおります。かわいい雪だるまの折り紙もありがとうございます。優しい気持ちで折って下さったのだなとぬくもりを感じました。挫けそうになる時がありますが、こうやってご支援いただくと、頑張ろう！と思えます。本当にフードバンク様からのご支援に感謝いたします。ありがとうございました。
- ・ひとり親なのに、体調を崩してしまい収入なしで茫然の日々ですが、何とか生きていけるのは、こうしたご支援のお陰です。ありがとうございます。（寄せられた声から、原文のまま）

【その他、意見・要望など】

3年目に入ったコロナ禍で、多くの子育て世帯、特にひとり親世帯が困窮状態に陥り、食事にもその影響が出ています。今年度の冬休み前は少し落ち着いた状況でもあったことからパントリーを再開し、直接食品を取りに来た方と直接お話しすることもできました。厳しい生活状況や子育ての悩みなどもお聞きして、改めてフードバンクなどの食糧支援の必要性を感じました。これからも地域の誰もが食に困ることなく安心して暮らしていけるようにできる限りの支援活動を続けて行きます。それには地域の皆様のご協力ご支援が必要です。「未来へつなぐ募金」での組合員の皆様からの温かいご協力は嬉しく、活動の励みになります。必要な食品を選べるシステムはとても有難く助かります。ありがとうございます。これからもご支援いただけますよう、よろしくお願いいたします。



東都生協調布センターへ引き取り



フードバンク倉庫へ到着

木み★子ども元気プロジェクト写真



パントリーで楽しそうに食品を選ぶ親子



宅配便の箱詰め作業